



豊岡らしい良い農業を考えよう

第1回 豊岡グッドローカル農業大会

エシカル
ヴィレッジと
同時開催

「環境」「経済」「社会」をより良くし、持続可能で幸せを感じる社会の実現に貢献する農業のあり方を目指す「豊岡グッドローカル農業 (GLA)」。その取り組みを広く伝え、豊岡らしい農業をみんなで考えるため、第1回GLA大会を実施します。

また、市民団体が企画・運営する、生活循環をテーマにしたイベント「エシカルヴィレッジ」も同時開催します。

11月23日(木・祝)
【大会】午後1時30分～3時30分
【エシカルヴィレッジ】
ヨガ午前9時30分～、マルシェ午前10時～午後3時

◆豊岡グッドローカル農業大会

- ▶場所 豊岡稽古堂 3階交流室3-1
- ▶内容 「農業」で地域を「よりよくなる」取り組みの実践発表(6団体)



◆エシカルヴィレッジ

- ▶場所 豊岡稽古堂1階および庁舎前芝生広場
 - ▶内容 地元農家による農産物直売、地元野菜を使った飲食提供など
- ※地球を汚さないイベントを目指すため、飲食や買物にはマイ食器、マイバッグ、容器などを持参してください。

《問合せ》農林水産課 ☎23-1127

現役研修生から
地域と共に歩む農業経営
を展開したい

有機農法による安全で、安心な農産物を生産し、地域の消費者に頼りにされる農業者になりたいです。研修を通じて、地域の農業者の思いや消費者のニーズから学んだことを活かし、新規就農していきたいです。



寺田拓史さん
研修先：中嶋敏博さん(出石町上村)

▼採用条件▽年齢要件なし(未成年は保証人が必要)▽市内在住者または転入者(転入予定を含む)▽研修終了後、市内で就農する意志のある方(独立・自営就農、

雇用就農または親元就農)※親元就農を予定する方は、研修先の経営主が研修生の親族(三親等以内)ではないこと。
▼募集人数 5人(新規)
▼研修期間 1年間(2024年4月1日～25年3月31日)
※更新により延長可
▼申込方法 24年1月9日(火)までに申請書(市ホームページに掲載)および必要書類を提出
《申込み・問合せ》
農林水産課
☎23-11127
農業スクール詳細



本気で農業に取り組み方を応援します
豊岡農業スクール研修生(第12期生)を募集

スクール在学中に就農準備資金が利用できます

就農予定時の年齢が50歳未満の方で、研修終了後に市内で就農する意志があり、国が設定する交付条件を満たす場合、在学中に年間最大150万円の給付を受けることができます。

受給希望者は、スクール入校後、市への申請および、審査を受ける必要が

あります。

なお、研修中または研修終了後に、国が設定する条件を満たさない方は、資金の交付停止または返還の対象となります。



詳細▶

地域おこし協力隊紹介 ～私と活動と、時々、暮し～

都市部から地方への移住を促進する国の制度「地域おこし協力隊」。個性溢れる隊員自らが活動を紹介しますシリーズ！

《問合せ》地域づくり課 ☎21-9096

vol.30

麦わら細工の

伝統技術継承

ふく い とも こ
福井 智子

協力隊(麦わら細工)の
□ムーシヨ
ン動画



大阪府箕面市出身。子どもの頃から絵を描くことや手芸、工作などものづくりが好きだった。

麦わら細工との出会い
城崎には、江戸時代から続く「麦わら細工」という伝統工芸があります。乾燥させた大麦の節を切り、ストロー状の茎を染色して割り開き、桐箱などに張り詰め、花鳥や幾何学模様を描きます。ごはんを練ったのりや日本剃刀(かみそり)など昔ながらの道具を使い、すべて手作業で製作します。

麦わら細工との出会いは、母との城崎温泉旅行でした。それまでは全く知りませんでした。母が見つけた「城崎麦わら細工伝承館」内で流れていた動画を見て一気にひき

込まれました。つややかで色鮮やかな麦わら、繊細な作業と緻密な細工、まさに憧れていた「職人技」でした。数年後、転職を機に憧れの伝統工芸の世界に飛び込んでみたいと思いました。この世界に飛び込むにあたり、一度全国の伝統工芸を調べてみましたが、私の中で麦わら細工を超えるものはなく、城崎を再訪し、かみや民藝店の門をたたきました。

夢の実現に向け技術を磨く
将来の夢は「麦わら細工職人になること」「城崎で自分の麦わら細工のお店を持つこと」です。何年かかるかわかりませんが、今は師匠の元で学び、麦わら細工の歴史をつないでいけるよう技術を磨いています。

通い修行から移住へ
始めは両親に移住を止められ、大阪で仕事をしながら、隔週末に城崎へ通いました。



通いながらその技術だけでなく、歴史や文化、城崎の暮らしに触れ「城崎で麦わら細工をやってみたい。本格的に学びたい」と思い、昨年4月に地域おこし協力隊として城崎へ移住しました。

一年目は、驚きと発見の毎日でした。気候も文化も交通手段も働き方も人付き合いの仕方も大阪のときとは違い、楽しいことも戸惑うことも多い怒涛の一年でした。

二年目の現在は、さらに出会いも増え、先を見据えた挑戦をしながら日々修業に励んでいます。



unesco
Global Geopark

ユネスコのロゴマーク



みんなのジオパーク第7回
**「ユネスコ世界ジオパーク」の
こんなにも素敵な考え方**

今回は「ユネスコ世界ジオパーク」(以下、ジオパーク)の素敵な考えについてです。

持続可能な地域は一つの地域ではつukれない

ジオパークの目標は、持続可能な地域を目指すことです。ですが、グローバル化した現在においては、持続可能な地域はその地域だけでつukることはできません。人口、経済、環境などの課題を見ても、他の地域と密接につながっているため、一つの地域で解決できるものではありません。

持続可能な地域をつくることは、その周辺地域、さらには、日本や世界全体が豊かにするには、その遺産の保護・保全を行うことで人類全体の利益につながります。

地球全体の利益を考えたつ、未来の子どもたちのためになる活動をするのがジオパークの素敵な考え方といえます。

《問合せ》山陰海岸ジオパーク推進協議会
☎26-3783